

議会だより

2021年1月発行

梶原正憲

☎ 44-4719

📞 090-5389-9936



干支(丑)と市花(バラ)



コロナウイルス感染症拡大防止に消毒液の寄贈(大隅電気工業(協)青年部)

皆様には、ご家族お揃いでのご新年をお迎えになられたことを謹んでお慶び申し上げますとともに、旧年中は私の議会・議員活動についても温かいご指導・ご協力を賜りましたことに感謝申し上げます。

昨年、太陽系の誕生や生命の起源を探る「はやぶさ2」のカプセルが6年間の月日をかけ帰還し、そのシーンを見て感動・感激を覚えると共に、さらに本体は11年かけての小惑星探査に向かいました。大きな期待と成功を祈りたいと思います。

新型コロナウイルス感染症のパンデミックは東京オリンピック延期やイベントの中止など社会・経済に大きな打撃を与え、非常に深刻な事態に陥ることから「緊急事態宣言」が発せられました。政府においても感染症拡大防止対策、雇用の維持、事業の継続など約57兆円の補正予算に追加対策として19.1兆円(閣議決定)をもって対応していますが、国内外における大流行はいまだに落ち着く気配がなく、死亡・重症者数は増加を続けています。

12月18日現在では、累計感染者(国193,811名、本県868名、鹿屋市24名)、死亡者(国2,840名、本県13名、鹿屋市ゼロ)となっています。

行政当局・医療関係者をはじめとする皆様のご尽力に敬意・感謝を表すると共に、早い収束を期待し、お互いの感染予防策として手洗い・消毒の励行やマスクの着用、密集・密閉・密接の「3密」を避ける自衛策を講じて参りましょう。

7月の九州中南部での豪雨や9月台風など自然災害も多く発生しましたが、これらにより甚大な被害を受けられました皆様方に心からのお見舞いを申し上げ、一日も早い復興・復旧をご祈念申し上げます。

本市においても、被災者に対し支援金の給付を行うと共に道路・河川・農道等の復旧については災害査定が終わり順次発注しております。また、コロナ禍の中、多くの市民・団体からの「善意の支援・活動」による「絆」が広っており、温かい気持ちになります。

今年は、オリンピック・パラリンピックの開催や東九州自動車道「鹿屋～志布志間(19.2km)」の開通予定、鹿屋市北部学校給食センターの9月供用開始、そして鹿屋港の浮き桟橋によるマリポートかごしま間の旅客不定期航路の許可がなされたことから豪華クルーズ船観光客による大隅半島ツアーが実施され、地域資源を生かした交流人口の増加が見込まれるなど明るい話題もあります。

さて、鹿屋市議会12月定例会は、11月27日から12月17日までの21日間開催されました。今議会に上程された議案は、一般会計補正予算(9号・10号次頁参照)及び財産(学習用タブレット端末)の取得並びに大隅広域夜間急病センター指定管理者の指定などの議案41件、報告(事故の和解)1件、人事案件(固定資産評価委員・教育委員・公平委員)5件、意見書(さつま芋基腐病の早期究明)を慎重審議しました。

その結果は、閉会中審査案の令和元年度の一般会計決算を「認定」、陳情の福祉有償運送への支援を「趣旨採択」とし、上程議案・報告・人事案件を「原案可決」意見書は「採択」となりました。

一般質問には、19名の同僚議員が登壇し、各分野における当局の見解を質しました。

令和2年度鹿屋市一般会計補正予算(第9・10号)の概要

県補助の決定を受けて実施する事業経費を追加計上するほか、事業進捗上、早急に実施する必要のある事業と国の第二次補正予算に基づき、ひとり親世帯臨時給付金が計上されています。

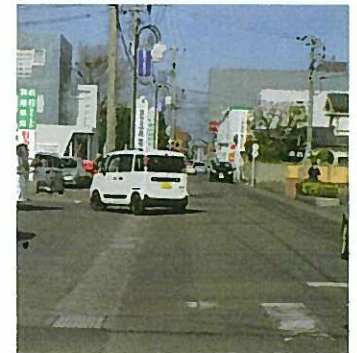
(1) 補正予算9号・・・事業費 9億686万6千円

(主な事務事業)

- ① ふるさと鹿屋応援基金・・・事業費 6億円
(寄付金の増加が見込まれることから基金に積み立てる)
(令和2年度末35億5千万円見込み)
- ② ふるさとPR促進事業・・・事業費 2億7,934万7千円
(返礼に要する経費を計上し、本市の認知度向上と地域の産業振興を図る)
(返礼品申込ベスト3は、ウナギ・牛肉・焼酎)
- ③ 強い農業・担い手づくり総合支援交付金事業・・・事業費 820万8千円
(令和2年7月豪雨により被災した(株)第一鹿屋青果地方卸市場の復旧を支援)
- ④ 道路整備事業(債務負担行為)・・・事業費 4,100万円
(工事の発注・施工時期の標準化のため田崎寿線ほか3線の道路改築工事などを今年度中に入札・契約を締結)



※イメージ画像です。 ※イメージ画像です。
返礼品(うなぎ蒲焼き・牛肉・焼酎)



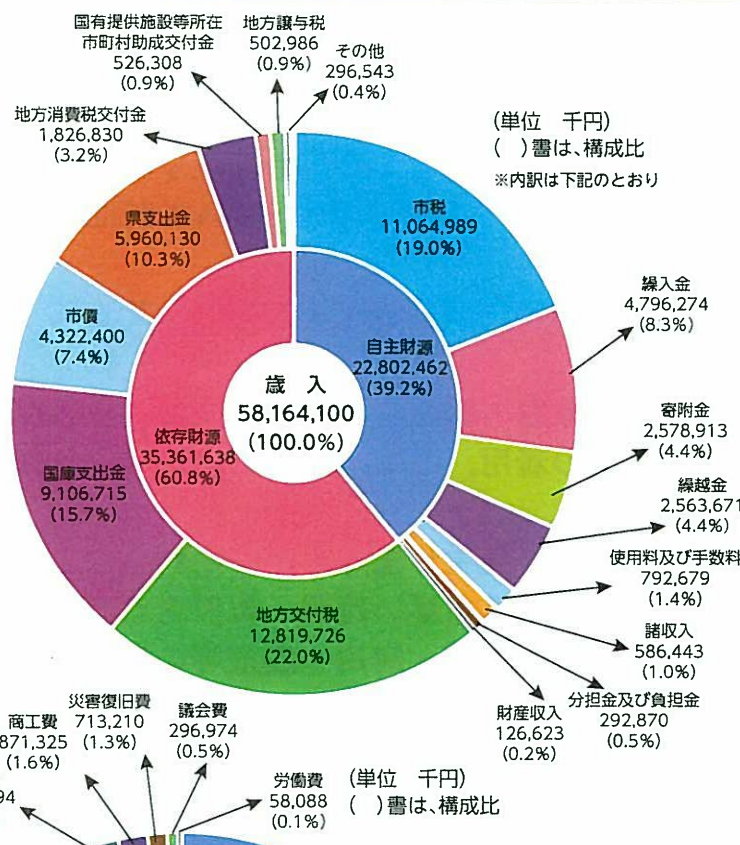
田崎寿線舗装工事

(2) 補正予算10号・・・事業費 1億311万3千円

(事務事業)

- ① ひとり親世帯臨時特別給付金・・・事業費 1億311万3千円
(新型コロナウイルス感染症の影響により、ひとり親世帯への再支給)
(一世帯 5万円、第2子以降一人につき3万円を加算、該当1480世帯)

令和元年度歳入歳出決算の状況

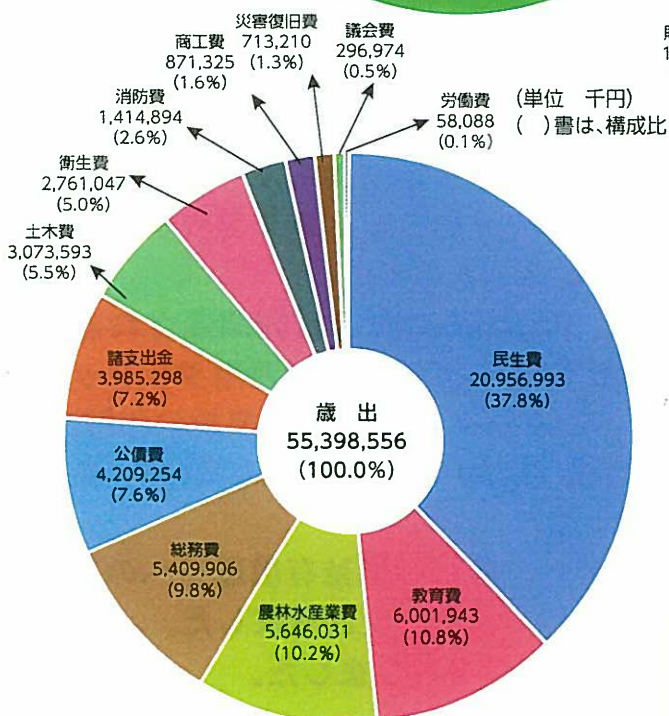


(1) 一般会計

歳入	581億6,410万円
歳出	553億9,855万6千円
差引	27億6,554万4千円
翌年度へ繰り越すべき財源	5億6,465万円
実質収支額	22億89万4千円

【その他】

項目	金額 (千円)	構成比 (%)
自動車取得税交付金	43,224	(0.1%)
環境性能割交付金	12,128	(0.0%)
地方特例交付金	175,095	(0.3%)
配当割交付金	22,794	(0.0%)
交通安全対策特別交付金	13,970	(0.0%)
株式等譲渡所得割交付金	13,124	(0.0%)
利子割交付金	7,448	(0.0%)
ゴルフ場利用税交付金	8,760	(0.0%)
その他	296,543	(0.4%)
計	296,543	(0.4%)



(2) 特別会計

会計名	歳入(A)	歳出(B)	差引(A-B)	翌年度へ繰り越すべき財源	実質収支額
国民健康保険事業	11,725,666	11,474,623	251,043	0	251,043
後期高齢者医療	1,250,380	1,239,764	10,616	0	10,616
介護保険事業	11,264,011	11,098,908	165,103	0	165,103
公共下水道事業	1,002,542	926,473	76,069	3,756	72,313
下水道	74,010	68,830	5,180	0	5,180
合計	25,316,609	24,808,598	508,011	3,756	504,255

公職選挙法にて、年賀状の挨拶が禁止されていますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

